

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 7 月 22 日

上場会社名 信越化学工業株式会社（コード番号：4063 東証第 1 部、大証第 1 部、名証）

（URL <http://www.shinetsu.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 金川 千尋

問合せ先責任者 経 理 部 長 笠原 俊幸 TEL (03) 3246 - 5051

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度に：無
おける認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

（1）売上高

（注）金額の百万円未満は切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	200,240	-
15 年 3 月期第 1 四半期	-	-
（参考）15 年 3 月期	797,523	-

（注）当該四半期より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 1 四半期の国内経済は厳しい雇用環境や消費の不振による低迷が続き、国際経済に大きな影響力を持つ米国経済にも力強さが欠ける展開でありました。また、東南アジア地域では重症急性呼吸器症候群（SARS）が当該期の経済活動の阻害要因となりました。

当社主要製品の事業環境につきましては、塩化ビニル樹脂の米国市況は主要用途の住宅建築等の需要が底堅く推移しました。半導体ウェハー市況は緩やかな需要増が続き、なかでも新製品の 300 mm ウェハーは市場が拡大しました。シリコンやセルロース誘導体は共に多様な需要分野を持ち、総じて安定した需要を維持しました。一方、通信関連業界は回復の見えない状況が続きました。

こうしたなか、当社は半導体ウェハー、シリコン、塩化ビニル樹脂の増設投資など、将来に向けた施策を進めると共に、安定的に収益をあげるため、製造・販売・技術の各分野の強化に努めました。

この結果、当第 1 四半期の売上高は、2,002 億 4 千万円となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

業績予想の見直しは行っておりません。

以 上